今月のことば

山鳥の
ほろほろと
鳴く声聞けば
父かとぞ思ふ
母かとぞ思う

照光寺だより

発行
真宗大谷派　照光寺
滋賀県蒲生郡日野町内池６５５
電話（０７４８）５２－２３６４
http://www.shoukouji.net/

秋季永代経法要のお知らせ

本年の秋季総永代経を、次の通りにお勤めします。

亡くなられた大切なお方を偲びながら、尊い仏縁を結んでいただきたいと存じます。

秋の農繁期と重なって恐縮ですがいずれかの座に、ご参詣くださるようご案内いたします。本年も、寺澤忍師より法話をしていただきます。

九月十三日（土）昼の座　午後二時～
十四日（日）朝の座　午前九時半～
法話　日野町三十坪　浄土真宗本願寺派
清徳寺前住職　寺澤　忍　師

仏事のイロハ ～永代経について～

永代経というのは、永代読経（えいたいどきょう）という意味で、「永代経」という名前のお経があるわけではありません。私たちの先代の方々が受け継いで来てくださったお念仏のみ教え（仏さまのみ教え）を喜ばせていただき子や孫の代まで**永代**にわたって、大切なみ教え（**お経**）が末永く受け継がれていくようにという願いが込められた法要が永代経法要です。

門徒もの知り帳 ～お彼岸とは～

お彼岸は、春分の日と秋分の日を中日とする前後三日間の合計七日間の期間を指します。

彼岸（ひがん）」とは、「此岸（しがん）」に対しての言葉で、私たちが生かされている迷いの世界が此岸に対し、彼岸は悟りの世界、極楽浄土を指しています。お彼岸は、インドや中国など他の仏教国にはなくて、日本においてのみ行なわれている仏教行事です。

私たち真宗門徒にとってのお彼岸は、ご本尊である阿弥陀如来のおこころを聴聞し、お念仏のみ教えを喜ばせていただくことを確認する大切な期間です。

御遠忌最終決算のご報告

八月十一日開催の世話方会議において、御遠忌会計の最終精算報告がされ了承されました。

五月の最終実行委員会で中間報告がされ了承されましたが、それ以後の残務処理がすべて終わっての最終決算報告として出されました。

収支の概略は次の通りとなりましたのでご報告いたします。

残金を寺特別会計へ繰り入れし、今後の不時出費に充てることと致します。

詳細は十二月の年末決算会議報告の際に致します。

九月の行事予定

十三～十四日（土～日）**秋季彼岸・総永代経法要**
十三日（土）昼の座　午後二時～
十四日（日）朝の座　午前九時半～
二十一日（日）**境内清掃総出**　午前八時
二十八日（日）**お講**　当番七番組　午前七時半
六・七・八月に不参の皆さま

編集後記

九月に入り「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がします。まだまだ残暑厳しい日が続いていますが、朝晩は少しずつ過ごしやすくなってきています。

きているような気があるように、本格的な秋に向けて、季節の移ろいは着実に進んで

きているような気がします。